



日光市子ども未来 かがやきプラン

～子育てのしやすいまちを目指して～

日光市子ども未来かがやきプランは、市が行うさまざまな子ども・子育て支援の取り組みを集中的・計画的に推進するための計画です(平成22年～今年度の5カ年計画)。

プランでは「子育てのしやすいまちづくり」を基本理念として、6つの基本方針(母子の健康・教育環境・地域の子育て・仕事と家庭の両立・多様な家庭への支援・安心な子育て環境づくり)のもと、さまざまな施策や事業を掲げています。

今回は、平成25年度の主な事業の実施状況(下表)をお知らせします。

くわしくは 子育て支援課 子育て環境係 ☎21-5186

表：全国統一で進捗管理を行う指定10事業の実施状況

事業名	内容	実施状況	目標値
通常保育事業 (公立・私立)	保護者が仕事などで、家庭で保育することができない就学前の児童を対象に保育園での保育を実施する。	認可保育所数…21カ所 定員…1,625名	認可保育所数…21カ所 定員…1,500名
延長保育事業 (公立・私立)	保護者の就労状況に配慮し、通常の保育園の開所時間を超えて保育を実施する。	施設数…17カ所 利用者数…572名/月	施設数…17カ所 利用者数…190名/月
一時保育事業 (公立・私立)	保護者が病気などで児童の保育が困難な場合に、保育園で一時的に児童を預かる。	施設数…6カ所 利用者数…3.2名/日	施設数…7カ所 利用者数…7名/日
休日保育事業 (公立・私立)	保護者が日曜日・祝日に仕事などで保育を必要とする場合に、保育園で児童保育を実施する。	施設数…2カ所 利用者数…8.5名/日	施設数…2カ所 利用者数…4名/日
つどいの広場 事業	子育て中の親子に、気軽に相談や交流ができる児童館的機能を備えた場を提供する。	施設数…4カ所 利用者数…295名/月	施設数…2カ所 利用者数…300名/月
地域子育て支 援センター事 業	子育て支援情報の収集・提供や専門的な支援を行う拠点として、既存ネットワークや子育て支援活動団体などと連携しながら、従来の乳幼児学級活動を含め、地域支援活動や交流会などを展開する。	施設数…1カ所 利用者数…18,522名/年	施設数…1カ所 利用者数…24,000名/年
ファミリー・ サポート・セ ンター事業	育児援助を受けたい会員(おねがい会員)と援助ができる会員(おうえん会員)の相互援助事業を実施するとともに、各種子育て研修会事業などを開催する。	施設数…1カ所 活動件数…3,345件/年 おねがい会員数…682名 おうえん会員数…165名 どっちも会員数…75名	施設数…1カ所 活動件数…1,800件/年 おねがい会員数…700名 おうえん会員数…100名 どっちも会員数…80名
短期入所生活 援助事業	保護者の病気や育児疲れなどにより養育困難な児童や経済的理由などにより保護を必要とする、母子の一時的預かりを実施する。	施設数…1カ所	施設数…1カ所
病後児保育 事業	保育園に併設した専用施設で、病気回復期にあって集団保育が困難な小学生までの児童の預かりを実施する。	施設数…2カ所 利用者数…1.5名/日	施設数…2カ所 利用者数…3名/日
放課後児童 クラブ事業	放課後に仕事で保護者のいない家庭の小学生を受け入れる場所の整備や指導員を確保し、遊びや生活の指導などにより子どもの健全育成を促進する。	開設小学校数…21校 クラブ数…46クラブ 入会児童数…1,507名	開設小学校数…20校 クラブ数…43クラブ 入会児童数…1,715名

紹介します!

ラピッド市との 中学生・高校生交流事業

ラピッド市は、アメリカ合衆国サウスダコタ州の西部に位置する人口約7万人の都市です。毎年約300万人が訪れる観光都市で、マウントラッシュモア国立記念公園やクレージーホース記念碑などが有名です。

また、自然を生かした農業や林業も盛んです。

市は市国際交流協会と共同で、ラピッド市とさまざまな交流を行っています。

今回は、7月～8月にかけて行った中学生・高校生の交流事業を紹介します。

くわしくは 観光交流課 観光交流推進係 ☎21-5196

互いの文化や習慣に触れ、
思い出を心に刻む

7月16日(水)に、ラピッド市の中学生・高校生7名が日光市を訪問しました。7月24日(木)までの9日間、ホームステイをしながら、今回ラピッド市へ行く日光市の生徒と一緒に市内の主な観光スポットを見学しました。また、日光中学校の生徒との交流を楽しむなど、日本の文化や習慣に触れる貴重な体験をしました。

7月24日(木)、ラピッド市の生徒の帰国にあわせて、日光市の中学生・高校生10名がラピッド市に向けて出発しました。8月2日(土)までの10日間、マウントラッシュモアやクレージーホース記念碑、エルスワース空軍基地の航空宇宙博物館などを見学しました。生徒たちは皆、アメリカの雄大な自然、スケールの大きさに驚いていました。

滞在中はホームステイを通じて、ホストファミリーと交流を深め、充実した日々を過ごしました。



航空宇宙博物館での記念撮影

今回はミネソタ州最大の都市ミネアポリスにも1泊し、観光を楽しむなど、たくさん思い出を心に刻んで帰国しました。

市は今後も、国際交流が広がるような事業を継続していきます。

派遣生徒の感想文

「ラピッド市の記憶」

今回のホームステイは、毎日驚きや発見があり、とても楽しい日々でした。ラピッド市の空港に着いたとき、僕は不安と緊張でいっぱいになっていました。しかし、ホストファミリーの方たちが、笑顔で出迎えてくれ、それまでの緊張がうそのように消えてしまいました。

ホストファミリーにあいさつと自己紹介をした後、彼らは長時間飛行機に乗っていた僕たちを「疲れた?」と気遣ってくれました。ホストファミリーはみんな優しく、とても安心することができました。

最初の2日間くらいは、英語を聞き取ることが大変でしたが、そのときもゆっくり話してくれたり単語を選んで話してくれたりして、僕たちがうまくコミュニケーションを取れるようにしてくれました。

週末はホストファミリーと一緒に湖へ行き、泳いだりボートに乗った

り釣りをしたりしました。この日がホームステイの中で最も楽しかった日になりました。

僕は、2つの家庭にホームステイしました。ホストファミリーと過ごせる日にちが少なかったのは残念でしたが、これも良い経験になりました。2つの家庭を通して驚いたことは、地下室があること、朝必ず庭の芝生に自動で散水していることでした。日本の家とは、靴を履いたまま入ること以外にもたくさん違いがあることがわかりました。

今回の派遣事業ではアメリカの文化や歴史を学ぶことができました。ホストファミリーとも、最初よりかなりスムーズに話すことができました。うになり、本当に良い経験ができました。この経験を今後の勉強や将来に役立てていきたいです。

もちろん、ホストファミリーとまた会うことも約束しました。そのときは、今よりももっともっと英語を上達させ、ホストファミリーを驚かせることができたいと思います。



松原 渡邊 莉久 (松原町) 鹿沼東高等学校2年生